

年の作は昨年の早稲被害にも劣らぬ凶作である。平年作だとか昨年より増収だ等々の虚言や政府の発表は吾々小作人の地主に對する小作米減免闘争を喚び止めようとする伏線だ、役人の調査がどうであらうと、朝晩田の中で暮してゐる吾々こそ樹の出来工合は誰よりも良く知つてゐるのだ。例へば農作にせよ世外に類のない高い小作米を地主に奪ひ取られてゐる吾々は小作米減免を徹到底に戦ひ抜かねばならない

実行方法

農作のゆきな増入をやらせず台文部総動員で共同働兵を敢行して減免額を決め、地主に地主に闘争の鉾先を集中しヒラ、俾單等によつて米組織農民に直降し共同して闘争すること、解決に就いては速早く米組織大衆に直傳煽動する。

土地取上反對闘争の件

土地は百姓の命である吾々は父祖代々魂を打ち込んで土地を守つて来た。田畑が荒れないやうに地味が肥るやうに朝晩心を砕いて土地を守り育てて来たのであつて、手足の白い地主が土地を守つて来たのでは決してない。然かも地主は小作木の支拂ひがオクレルと二百日には土地を返せと言ふ、或は自作をしてみたいとか、又は甚奮に入れてゐる土地が銀行から処分されるからと言つてはその尻を吾々におつてくる。そして地主擁護の法律を盾に吾々を法廷に引き出しひた押しに追つてくる。殊に最近では地主組合の組織の力を集中し取は筆力圖を手先に使つて強迫的態度さへとる然し吾々は断じて土地を手離すことには出来ぬ。土地を離れては一家族全部が飢え死せねばならないからだ、吾々は土地取上反對し土地を守るために支部の組織、地盤確立を圖り、自衛圖を